

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステップサポートなかがわ		
○保護者評価実施期間	令和8年 4月 22日		令和8年 5月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和8年 4月 22日		令和8年 5月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内が広い。 エリア分けや掲示物等が分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動場所や待機場所、遊びのスペースなどが色分けやホワイトボードでの指定があるため、子どもたちにとって分かりやすくしている。 活動時間に活動場所、待機場所でエリア分けをしているが、それぞれのスペースを十分に確保できるように考慮しスタッフ全員で検討しながら企画、進行している。 	<ul style="list-style-type: none"> エリア分けをしている分、それぞれのエリアで子どもたちが安心して楽しめるようにスタッフを配置して今後も引き続き支援を行っていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 専門知識からの支援を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育、保育、福祉関係の職業を経験したスタッフによる支援を行うことで、それぞれの専門分野の知識に基づく支援を行っている。 また、多店舗を交えた研修を定期的に行うことで知識を増やし、日々の支援に活かすことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自他店舗での研修を継続したうえで、外部研修への参加も行い、知り得た知識を周知させ、子どもたちにとってさらにいい支援ができるようにしていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い年齢層の他利用児と関わりを持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢層の異なる他利用児と関わることで年齢の異なる人とのかわり方を学ぶことができたり、いいところを真似することができたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> グループでの活動を取り入れていく事でさらに見本を見る機会を設けたり、異年齢での関わりを増やすことができるような活動プログラムを考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー設備が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 階段があるため、移動に困難さを感じる利用者もいる。 また、廊下やトイレ、手洗い場等に手すりもついていないことから、利用者にとって、移動がストレスになってしまう可能性があることや更なる介助が必要となることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 即日に対応、改善できるものではないため、現状であるものや代替できるもので安全を考慮しながら引き続き介助、支援を行っていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者間の交流の機会が少ない。(連絡先交換等も難しい。) 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士が顔を合わせて、意見交換や相談、連絡先交換等ができる機会が少ない。 保護者の方や兄弟が参加できるようなイベントが年に1回しかない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や兄弟が顔を合わせて参加できるようなイベントを増やせるように季節イベントを検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和8年 5月 14日						利用児童数	28名	回収数	25名
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25				・走り回ったりしない普通の活動なら十分なスペースだと思う	・今後も活動に合わせた安全な環境整備を行っています。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22			3	・職員と利用児の人数は分からない。 ・適切かは分からないが、職員の負担が大きくなければ適切だと思う。	・活動に合わせて職員を配置していきま			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24			1	・ポスターなども貼ってて分かりやすい。	・今後も適宜、子どもたちにとって分かりやすい環境となるように努めています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25				・保護者がモニタリング等で来所した際も居心地よかったため大丈夫だと思う。	・今後も子どもたちにとっても常に心地の良い環境となるように努めています。			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24			1	・いつでも子どものことを気にかけて、必要な支援をしていると感じている。 ・子どもが理解難しい際は、マンツーマンで対応しているため有難いと感じている。	・今後もそれぞれの子どもたちにとって必要な支援や対応を考え行っていきます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25				・合っていると思う	・今後も固定化されないように支援プログラムを考え、説明と提供を行います。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25				・特にニーズに関してはよく理解して反映していると思う ・細かい分析があり保護者への説明もしかりしている。	・保護者と情報共有を行いながら、個別支援計画を作成していきます。 ・また、保護者への説明も丁寧に分かりやすく行っていきます。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1		4	・具体的な支援内容で保護者も深く共感できる、気づきを得られることがある。	・今後も具体的な支援内容で分かりやすく説明し、支援計画を設定していきます。			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25				・計画に沿った支援が行われていると思う。	・今後も職員間で情報共有を行い、計画に沿った支援を行います。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2		1	・子どもが飽きないような工夫がされていると思う。 ・毎月、予定表や活動の狙いを伝えられている為分かりやすい。	・今後も子どもたちが飽きず、楽しんで活動ができるような活動プログラムを考えて行きます。 ・また、予定表やねらいも分かりやすく作成していきます。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	8	12	・保護者が知らないだけであるかも？ ・最近ないと感じる。	・安全面等を考慮した上で、機会を増やせるように検討していきます。			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				・説明はあった。	・今後も説明させていただいた上で、保護者から質問があった際にも適宜対応させていただきます。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24		1		・説明された。	・今後もモニタリングの際には計画書を提示しながら支援内容の説明を行っています。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	6	9	・職員からの言葉かけはあるが研修会があるのは分からない。	・引き続き職員から保護者の方へ、丁寧な情報提供を行います。 ・関わりを持ちたくないご家庭もあると予想されることからどのような実施が適切か検討していきます。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	25				・毎回の情報共有がある。	・今後も毎回の送迎時に保護者の方へ子どもたちの様子や活動内容をお伝えし、情報共有していきます。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1			・支援が行われている。	・今後もモニタリングだけではなく、送迎時や保護者からの希望があった際に面談や相談を行ってまいります。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1		1	・精神的なサポートがたくさんある。	・引き続き、保護者の方も安心して利用していただけるように支援していきます。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	5	10	・去年の夏祭りが楽しかった。 ・イベント時に保護者同士の交流だけのためもう数回あると連絡先交換などしやすいと感じる。	・関わりを待ちたくないご家庭もあることから、今後どのように実施していくことが適切か検討していきます。			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1			・相談や質問をする適切な対応あり。	・今後も相談や質問していただいたことを職員全員で共有、検討して今後の支援や対応を適切に行えるようにしていきます。				
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25				・LINEでタイムリーな情報提供や共有がある	・今後も保護者の方に分かりやすい情報伝達ツールを用いてタイムリーな情報提供や共有をしていきます。				

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	3	1	4	・変更時は連絡があるため、有難く思っている。	・今後も変更時はもちろん、適した情報伝達ツールを用いて情報発信をしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25				・留意されていると思う。	・今後も個人情報の扱いについて職員全員で周知し、適切に取り扱っていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23		1	1	・プリントを見せながらの説明がある。	・引き続き避難訓練を行い、その様子を連絡帳に記載し、丁寧に保護者の方へ送迎時にもお伝えします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23			2	・していると思うが、知らない。 ・避難訓練の日は家でも子どもがやっているため分かりやすく訓練していると思う。	・引き続き、活動中に避難訓練を取り入れ予定表に記載、参加時には様子を連絡帳へ記載、送迎時にお伝えします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25				・安全の確保の上で、支援が行われていると思う。	・今後も契約時やモニタリング時に計画書を提示して保護者の方へお伝えしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24			1	・説明されていると思う。	事故や怪我が発生した際には保護者の方へ速やかに連絡し、適切な処置をしていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25				・いつも温かく心のごもった支援で感謝している。	・今後も子どもたちが安心して過ごせられるような環境を常に考え、設定していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	2		1	・休みの日にでも子どもが「ステップ」と言うため楽しんで通所していると思う。	・今後も子どもたちが休みの日でも行きたくなくなるくらい、楽しく参加できるような活動を考えて取り入れていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				・満足はしているが以前のようなクッキングや工作のイベントが増えてほしい。	・今後も子どもたちや保護者の方のニーズに合わせた丁寧な支援をしていきます。 ・調理レクや工作のイベントは安全面や衛生面等に十分に考慮して行えるように検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ステップサポートなかがわ					公表日	令和8年 5月 14日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・バリアフリー化に限界はあるものの、安全性が担保され、かつ保護者の方の要望を考慮してできることを模索と提案はできている。	・肢体不自由の子にはストレスのかかる階段がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3		・結果の確認は個人レベルで行っているため、職員が一堂に会する場での確認や話し合いの機会があればより深い有効活用につなげることができる。と考える。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		・行っているという旨の周知が無く、それを伺える様子もない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・立案はリーダーが行うが、確認やブラッシュアップ等は全員で行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			・地域交流の機会の提供は他と比べると少なくなはなるものの毎月何かしらのイベントで取り入れるようにはしている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			・活動内外問わず、選択から決定の流れを意識してどの職員も支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			・基本は保護者の方を通じて行っている。 ・例外事由の場合のみ保護者や学校からの承諾の範囲での連絡を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		・必要に応じ、情報提供のみ行っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		・他デイからの依頼で対応を引き受けたことはあるが、子ども間の交流はない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		6		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			・参加していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	5		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		・夏祭り以外にも交流を深められる場を作りたいと思う。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3	・以前はSNSを行っていたが、個人情報等の観点より取りやめに至った。	・SNSに対する情報漏洩等の怖さもあるため、発信の仕方には検討が必要である。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・視覚支援など分かりやすい方法を取り入れるように配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・策定、周知は行えているが、訓練の実施までは行えていない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・防災イベントの一環で避難訓練は行っているがその他は行えていない。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				